



【 「井波ふるさと検定」に取り組む 】

○ 井波小学校では、2月6日～28日まで、「井波ふるさと検定」を行っています。15分間で、各学年、20問の問題に挑戦します。80点以上を合格とし、合格者には「合格証」を渡します。1回目で合格しなかった子供は、再検定をします。問題については、過去の問題を参考にしながら、今年度に学習・活動した内容も付け加えるなど、加除修正しています。



○ この検定の趣旨は、「今年度、各教科（校外学習含む）や総合的な学習の時間等で学んだことを基にした問題『井波ふるさと検定』にチャレンジすることで、井波地域や南砺市の自然・文化・歴史等に対する関心を高め、知識を豊かにする」ということです。

○ 問題については、例えば、次のようなものがあります。

・「なんとしの うた」の正しいだめいは、どれですか？

（「ゆうひの さとから」「みんなの さとから」「みどりの さとから」「きぼりの さとから」）

・お寺（瑞泉寺）で火事を消したといわれている動物はどれですか？

（「くじら」「龍」「獅子」「麒麟」）

・黒髪庵は、有名な俳人の遺髪がおさめられています。その俳人はだれですか？

（「夏目漱石」「小林一茶」「松尾芭蕉」「宮沢賢治」）

○ 他にもたくさんあります。私が見ても、興味をもつ問題や、「なるほど」と思う問題ばかりです。そして、例えば「黒髪庵に実際に行く」という行動をとったり、一度行った場所に関して確認したりすることで、**知識が実感として自分のもの**になります。

○ この「井波ふるさと検定」は、昨年、井波小学校が「**キャリア教育優良学校**」として**文部科学大臣賞**を受賞した大きな要因の一つだと思います。そして、「**知識**」と「**地域に関わる体験活動**」との両輪が、「**ふるさと教育（井波教育B）**」を支え、子供たちの地域への愛着と誇りを育てているのだと改めて思う次第です。